

新型コロナウイルス感染について（第4報）

2021年1月21日(木)

入院患者1名と看護師1名が新型コロナウイルスに感染したことが確認されましたのでご報告いたします。

1月13日より千秋病院の一般病棟（A2病棟）に入院しておりました80代の患者様1名と、当該病棟に勤務する20代の看護師1名について、新型コロナウイルスに感染していることが1月20日確認されました。

■経過と今後の対応

当該患者様においては、入院前に濃厚接触者との接触があったため入院時にPCR検査を実施し陰性を確認しておりました。以後も、疑似症患者としての感染対策を継続しつつ、18日に2回目のPCR検査を実施したところ、20日に感染が確認されました。同日20日、患者様はCOVID-19の治療可能な医療機関へ転院となっております。

同じく20日、発熱のため休務していた当該病棟に勤務する看護師1名の抗原検査陽性が確認されました。当該看護師は感染が確認された患者様の食事介助を数回担当しましたが、その際は必要な感染防護策を講じており、濃厚接触はなかったと思われます。しかし、職員の感染経路が特定できないため20日、当該病棟の入院患者47名と病棟業務に従事する職員26名にPCR検査を実施いたしました。21日には残りの職員にもPCR検査を実施する予定です。

以上より、PCR検査において院内感染の疑いが否定されるまでは、当該病棟への新規入院を一時休止し、退院も一時延期とすることいたしました。

患者様やご家族はじめ、関係の皆さま方には大変なご迷惑とご心配をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

医療法人尾張健友会 千秋病院
病院長 北島勝仁